

令和8年度熊本県公立学校教員採用選考考査第二次考査における 模擬授業題について

学校人事課

1 模擬授業について

- (1) 出願した「校種・教科等」において、次の表中に示す「模擬授業の内容」を扱った授業を構想し、その授業を模擬授業として実施する。
- (2) 模擬授業の時間は面接員の指示から授業終了まで10分以内とする。
- (3) 模擬授業の会場には、ホワイトボード・ペン（黒・赤・青）が準備してある。
- (4) 模擬授業は、受考者が本時の学習の中心と考える部分について行うこと。導入やまとめ等は不要。
- (5) 図や表、グラフ、長文等、板書に時間を要するものは、書いてあるものと想定して授業を行ってよい。
- (6) 面接員とのやり取りはできない。
- (7) 模擬授業に持ち込み可能なものは、模擬授業メモ（A4用紙1枚）のみとし、メモを見ながら授業を行ってもよいこととする。
※メモの提出は不要
※その他の掲示物等の持ち込みは一切不可
- (8) 小学校については、国語か算数のいずれか一つを選択する。

2 模擬授業出題一覧

校種・教科 (科目)等		模擬授業の内容
小学校	(国語)	小学校学習指導要領 国語 〔第3学年及び第4学年〕 2 内容 〔思考力、判断力、表現力等〕 C 読むこと (1) 読むことに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 オ 文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもつこと。
	(算数)	小学校学習指導要領 算数 〔第4学年〕 2 内容 D データの活用 (1) データの収集とその分析に関わる数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。 (7) 目的に応じてデータを集めて分類整理し、データの特徴や傾向に着目し、問題を解決するために適切なグラフを選択して判断し、その結論について考察すること。

校種・教科 (科目)等	模擬授業の内容
中学校・国語	中学校学習指導要領 国語 〔第1学年〕 2 内容 〔思考力、判断力、表現力等〕 C 読むこと (1) 読むことに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 エ 文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えること。
中学校・社会	中学校学習指導要領 社会 〔公民的分野〕 2 内容 D 私たちと国際社会の諸課題 (1) 世界平和と人類の福祉の増大 対立と合意、効率と公正、協調、持続可能性などに着目して、課題を追究したり解決したりする活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。 (ア) 日本国憲法の平和主義を基に、我が国の安全と防衛、国際貢献を含む国際社会における我が国の役割について多面的・多角的に考察、構想し、表現すること。
中学校・数学	中学校学習指導要領 数学 〔第2学年〕 2 内容 C 関数 (1) 一次関数について、数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。 (イ) 一次関数を用いて具体的な事象を捉え考察し表現すること。
中学校・理科	中学校学習指導要領 理科 〔第2分野〕 2 内容 (2) 大地の成り立ちと変化 (ウ) 火山と地震 ① 地震の伝わり方と地球内部の働き 地震の体験や記録を基に、その揺れの大きさや伝わり方の規則性に気付くとともに、地震の原因を地球内部の働きと関連付けて理解し、地震に伴う土地の変化の様子を理解すること。
中学校・音楽	中学校学習指導要領 音楽 〔第2学年及び第3学年〕 2 内容 A 表現 (3) 創作の活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 イ 次の(ア)及び(イ)について、表したいイメージと関わらせて理解すること。 (イ) 音素材の特徴及び音の重なり方や反復、変化、対照などの構成上の特徴
中学校・美術	中学校学習指導要領 美術 〔第1学年〕 2 内容 B 鑑賞 (1) 鑑賞の活動を通して、次のとおり鑑賞に関する資質・能力を育成する。 ア 美術作品などの見方や感じ方を広げる活動を通して、鑑賞に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 (イ) 目的や機能との調和のとれた美しさなどを感じ取り、作者の心情や表現の意図と工夫などについて考えるなどして、見方や感じ方を広げること。

校種・教科 (科目)等	模擬授業の内容
中学校・保体	中学校学習指導要領 保健体育 〔体育分野 第1学年及び第2学年〕 2 内容 H 体育理論 (1) 運動やスポーツが多様であることについて、課題を発見し、その解決を目指した活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 運動やスポーツが多様であることについて理解すること。 (7) 運動やスポーツは、体を動かしたり健康を維持したりするなどの必要性及び競い合うことや課題を達成することなどの楽しさから生みだされ発展してきたこと。
中学校・技術	中学校学習指導要領 技術・家庭 〔技術分野〕 2 内容 D 情報の技術 (1) 生活や社会を支える情報の技術について調べる活動などを通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 情報の表現、記録、計算、通信の特性等の原理・法則と、情報のデジタル化や処理の自動化、システム化、情報セキュリティ等に関わる基礎的な技術の仕組み及び情報モラルの必要性について理解すること。
中学校・家庭	中学校学習指導要領 技術・家庭 〔家庭分野〕 2 内容 A 家族・家庭生活 (3) 家族・家庭や地域との関わり イ 家族関係をよりよくする方法及び高齢者など地域の人々と関わり、協働する方法について考え、工夫すること。
中学校・英語	中学校学習指導要領 外国語 英語 2 内容 〔知識及び技能〕 (3) 言語活動及び言語の働きに関する事項 ① 言語活動に関する事項 ウ 読むこと (7) 書かれた内容や文章の構成を考えながら黙読したり、その内容を表現するよう音読したりする活動

※中学校・保体については、他の教科等と同様に教室での模擬授業とする。

なお、運動のできる服装、運動靴の準備は不要。